

国宝土偶の造形美

仮面の女神「10周年指定特別展 茅野市考古館 縄文展」

その中「原遺跡かつし」の作りで、逆三角複製を並べて展示。仮面土偶の形は仮面をかぶったような顔のルーツとされるハート形土偶が特徴。2014年8月21日に国室に指定された。特別展は、国室指定の理由である「大型で空形ハート状の女神」の实物を見たくて来館したという新潟県三条市の國定麗さん(19)は「思っていたよりも大きい。文様がしっかりと残っているのがすごい」と感動した様子。東京都から出土した仮面土偶「日本の縄文の母ほこり」山形で残っていてびっくり。見ていると、縄文時代の神聖な儀式の様子など想像が膨らみ



国宝指定10周年を迎えた土偶「仮面の女神」に見入る来館者＝茅野市尖石縄文考古館

「まず」と話していた。特別展は展覧替えを挟んで11月4日まで。日曜休館。問い合わせは同館（電話026・76・2270）へ。（宮沢知史）